

リスク分析ってな〜に？

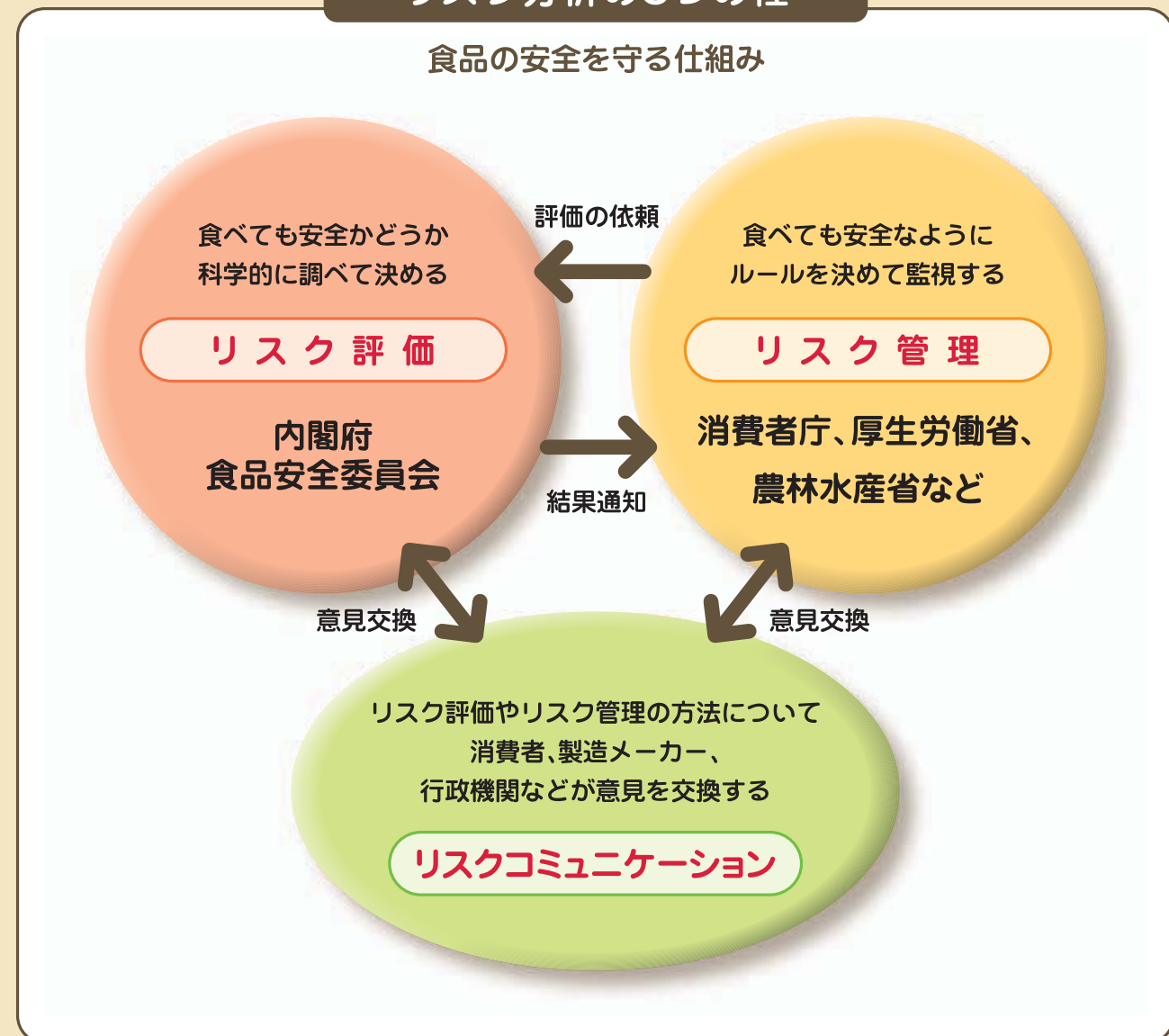
① リスク分析には3つの柱があります

リスク分析のしくみには3つの柱があります。1番目は、食べても安全かどうか科学的に調べて決める「リスク評価」です。2番目は、このリスク評価をもとに、食べても安全なようにルールを決めて、みんなで守るようになる「リスク管理」です。そして3番目の柱が、この2つについて、食べ物を作る人々、売る人、買って食べる人たちや役所が、それぞれの立場から意見を出して話し合う「リスクコミュニケーション」です。「リスク分析」ではこの3つのすべてがとても大切です。

② 調べる人とルールを作る人は別々です

たとえば、安全な家を造るためには、設計する人、実際に建てる人、電気・ガス・水道工事をする人など、専門家の協力が必要です。同じように、リスク評価とリスク管理も、それぞれ専門的な知識や経験を持つ人々が別々に行います。そして調べたり、決めたりする時に、リスクコミュニケーションによって、みんなが理解し、納得できるように話し合うのです。このようにしてリスク分析は行われています。

リスク分析の3つの柱

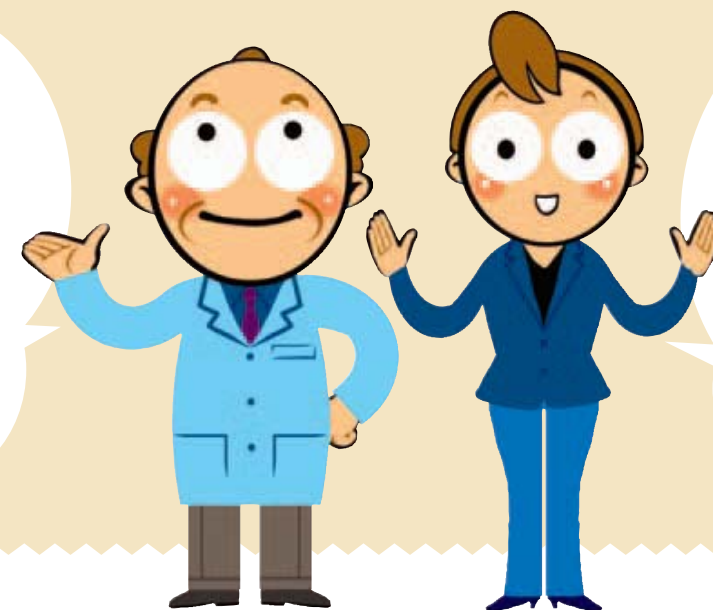


「3つの柱のどれもが、リスク分析には同じように重要なんだよ」



「うちの柱だけにかたよりにすぎないように、3つの柱が支え合うしくみになっています」

「食べ物のリスク評価とリスク管理は違う組織で行って、独立性をもたせているのが日本のしくみなんだ」



「もちろん、専門家じゃない人の不安や心配も、リスクコミュニケーションで話し合ってリスク分析にいかしていくようになっていってるよ」